

# JIS

## フェライト磁心—第 3-1 部：寸法及び外観— E 形フェライト磁心

JIS C 2560-3-1 : 2006

(JEITA/JSA)

平成 18 年 11 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 電子技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	酒 井 善 則	東京工業大学
(委員)	岩 田 秀 行	日本電信電話株式会社
	尾 村 博 幸	日本ケミコン株式会社
	河 合 直 樹	日本放送協会
	川 瀬 正 明	千歳科学技術大学
	木野村 正	財団法人日本規格協会
	窪 谷 耕 造	社団法人電子情報技術産業協会
	栗 原 正 英	社団法人日本電子回路工業会
	桜 井 貴 康	東京大学
	田 中 謙 治	総務省
	幡 野 喜 子	三菱電機株式会社
	平 川 秀 治	株式会社東芝
	増 田 岳 夫	財団法人光産業技術振興協会
	森 紘 一	富士通株式会社

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 18.11.20

官 報 公 示：平成 18.11.20

原 案 作 成 者：社団法人電子情報技術産業協会

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-11 三井住友海上駿河台別館ビル TEL 03-3518-6434)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：電子技術専門委員会 (委員長 酒井 善則)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット情報電子標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)／財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

これによって **JIS C 2514** : 1989 は廃止され、この規格及び **JIS C 2560-2** : 2006 に置き換えられる。

制定に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**IEC 60424-3** : 1999, Ferrite cores—Guide on the limits of surface irregularities—Part 3 : ETD-cores and E-cores, **IEC 61185** : 2005, Ferrite cores (ETD-cores) intended for use in power supply applications—Dimensions, **51/845/CDV**, Ferrite cores—Dimensions—Part 8 : E-cores 及び **IEC 62317-7** : 2005, Ferrite cores—Dimensions—Part 7 : EER-cores を基礎として用いた。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

**JIS C 2560-3** には、次に示す附属書がある。

附属書 1 (規定) 寸法検査のためのゲージ寸法例

附属書 2 (参考) 磁心の実効定数の計算式

附属書 3 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表

**JIS C 2560** の規格群には、次に示す部編成がある。

**JIS C 2560-1** 第 1 部：通則 (予定)

**JIS C 2560-2** 第 2 部：試験方法

**JIS C 2560-3-1** 第 3-1 部：寸法及び外観—E 形フェライト磁心

## 目 次

	ページ
序文.....	1
1. 適用範囲.....	1
2. 引用規格.....	1
3. 磁心の寸法.....	2
3.1 主要な寸法.....	2
3.2 磁心に用いる各種定数.....	4
4. コイルボビンの寸法.....	6
5. 磁心の外観.....	9
5.1 チップ及びラッグドエッジ.....	9
5.2 クラック.....	12
5.3 フラッシュ.....	12
5.4 プルアウト.....	12
附属書 1 (規定) 寸法検査のためのゲージ寸法例.....	14
附属書 2 (参考) 磁心の実効定数の計算式.....	18
附属書 3 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表.....	21
解 説.....	23

# フェライト磁心—第 3-1 部：寸法及び外観— E 形フェライト磁心

## Cores made of ferrite—

### Part 3-1 : Dimensions and surface irregularities—E cores

**序文** この規格は、1999 年に第 1 版として発行された IEC 60424-3, Ferrite cores—Guide on the limits of surface irregularities—Part 3 : ETD-cores and E-cores, 2005 年に第 2 版として発行された IEC 61185, Ferrite cores (ETD-cores) intended for use in power supply applications—Dimensions, 2005 年に第 1 版として発行された 51/845/CDV, Ferrite cores—Dimensions—Part 8 : E-cores 及び 2005 年に第 1 版として発行された IEC 62317-7, Ferrite cores—Dimensions—Part 7 : EER-cores を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、原国際規格にはない事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書 3 (参考)** に示す。

**1. 適用範囲** この規格は、主に変成器、変圧器及びチョークコイルに使用する E 形フェライト磁心（以下、磁心という。）の寸法、それらの寸法を用いて算出する実効パラメータ、磁心とともに用いるボビンの寸法及び外観の許容限界について規定する。

**備考 1.** E 形フェライト磁心は、一般に組み合わせて使用する。

**2.** この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

**IEC 60424-3** : 1999, Ferrite cores—Guide on the limits of surface irregularities—Part 3 : ETD-cores and E-cores (MOD)

**IEC 61185** : 2005, Ferrite cores (ETD-cores) intended for use in power supply applications—Dimensions (MOD)

**51/845/CDV**, Ferrite cores—Dimensions—Part 8 : E-cores (MOD)

**IEC 62317-7** : 2005, Ferrite cores—Dimensions—Part 7 : EER-cores (MOD)

**参考** この規格で扱う E 形フェライト磁心は、IEC が規定する中脚の断面が角形である E 形フェライト磁心の他に、中脚の断面が円形の ETD 形及び EER 形フェライト磁心を包含する。

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格は、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。

**IEC 60205** : 2001 Calculation of the effective parameters of magnetic piece parts